

「発達障害」とともに生きる 豊かな地域生活応援助成

②（3年継続助成用） 申込用紙 ※改行無効（A4×3枚以内に収めてください）

団体について（今後設立予定の場合も含む）

(ふりがな) 団体名		ともにまなぶおうえんだん	
		「ともに学ぶ」応援団	
所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県△△市〇〇1-2-3	
電話番号		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
ホームページや 団体 SNS アカウント		www. x x x - x x x x x . or . jp	
代表者	(ふりがな) 氏名	あさひ のぼる	役職、属性、職業等 理事長 △△市民生委員（児童担当）
		朝日 のぼる	
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	メールアドレス	x x x - x x x x @ x x x . com	

申込者について

(ふりがな) 氏名	ともに まなぶ
	トモニ 学
団体との関係・役職	「ともに学ぶ」応援団 非常勤職員（無給ボランティア）
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△県△△市〇〇1-2-3 ●●ビルディング456
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス	x x x - x x x x @ x x x . com

団体の活動について

団体の主な日ごろの活動		団体の略歴（設立年月日、活動を始める予定日等）											
<p>肢体不自由や知的障害、学習障害を含む発達障害や日本語を母国語としない子どもたちなど、さまざまな個性やルーツのある子ども同士が、同じ地域の同じ学校で一緒に学んでいくために必要な情報を発信したり、交流会を行う活動を実施。</p>		<p>2012年12月 △△市××地区の地元有志数人で設立。 2015年4月 NPO法人格を取得。 2018年4月～翌3月 ○○財団より助成金を得てさまざまな個性のある人同士がかかわる楽しさを描いた漫画「いっしょに遊ぶって、大発見！」を発行。</p>											
職員数	<table border="0"> <tr> <td>有給</td> <td>名</td> <td>(活動頻度)</td> <td>月・週</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>無給</td> <td>3名</td> <td>(活動頻度)</td> <td>月・週</td> <td>5日</td> </tr> </table>	有給	名	(活動頻度)	月・週	日	無給	3名	(活動頻度)	月・週	5日		
有給	名	(活動頻度)	月・週	日									
無給	3名	(活動頻度)	月・週	5日									
連携している団体、個人	連絡先	住所											
NPO法人「凸凹の輝く教育」理事長====氏 △△区役所障害福祉課 ○○さん		〒〇〇〇-〇〇〇〇 ●●県○○市==町1-2-3											
連携内容		電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇											
△△区主催イベント「●●●●」にてダイバーシティ教育を考えるワークショップ「◎◎」を共同開催	代表者		====さん										

記入いただいた情報は、当事業団の規定に従って適切に管理します。また、当事業団のイベントのご案内に利用させていただきます場合があります。

収入	自主財源	会費 年 <b>3,000円×20人</b>	<b>60,000円</b>	支出	※団体の予算書にもとづいて記入 会場費：144,000円 (1回3千円×月4回×12か月) おやつ代：48,000円 (1回1千円×月4回×12か月) 雑費：20,000円 (チラシ印刷費、文具代など) 保険料：30,000円 (1人1千円×30人) 職員交通費：54,000円 (月1.5千円×12か月×3人) 繰越金：4千円
		寄付金 <b>100,000円</b>	<b>100,000円</b>		
		収益金 (有料セミナー入参加費)	<b>20,000円</b>		
		その他 ( <b>バザー収益金</b> )	<b>20,000円</b>		
	助成金・補助金	助成団体： ●● <b>県ボランティアセンター</b> 金額： <b>100,000円</b>	<b>100,000円</b>		
合計 <b>300,000円</b>			合計 <b>300,000円</b>		
これまでに受けた、または定期的に受けている代表的な助成等 (※)	助成団体名	助成年月	助成金額	助成内容	
	●● <b>県ボランティアセンター</b>	<b>2021年4月</b>	<b>100,000円</b>		
	○○ <b>財団</b>	<b>2018年4月～翌3月</b>	<b>1,000,000円</b>	<b>漫画「いっしょに遊ぶって、大発見！」作成費</b>	

※「これまでに受けた、または定期的に受けている代表的な助成等」には、①現在受けている助成、②総額の大きいもの、③助成時期の新しいものの優先順で記入。

### 助成金について

区分	① 学習・研修活動 ② 調査・研究活動 ③ 器具・器材の開発・購入 ④ 市民への啓発活動 ⑤ モデル的活動 ⑥ その他						
事業名	<b>障害があってもなくても地域の学校へ！地道な交流会&amp;地域の理解を広めるための講演会</b>						
実施期日・実施期間	開始／ <b>2023年 4月 下旬</b> 日			終了／ <b>2026年 3月 上旬</b> 日			
申請理由 (継続が必要な理由もあわせて)	個性のある子どもたちが地域にとけこみ、「町の子ども」と広く認識してもらうために障害の有無にかかわらずさまざまな子どもも集える交流会を計画中。地域住民の理解と共感が集まったところで、3年間の助成の集大成として講演会を開催し、学校選択は本人や保護者の希望がかなう社会の実現への理解を呼びかけます。専門家の手も借りるため、その謝礼やチラシ印刷費などの助成を希望します。日ごろ使用している事務所オーナーの好意により、会場を無料で使用できるようになったことも、この活動を決意したきっかけです。						
内容及び計画 【1年目】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施頻度：月8回(4回：子どもだけでも参加可能、4回：親同士の交流をはじめ大人が中心)</li> <li>●2023年4月～：広報(チラシのポスト投函、地区掲示板への掲示、学校を通じてのチラシ配布)、5月～翌3月交流会の実施、夏休みと冬休み期間中には別途お楽しみ会を実施。</li> <li>●月に2回、地域子ども家庭課および障害福祉課の担当者によるプチ相談会を実施。</li> <li>●相談会実施中は保育士や看護師、作業療法士を配置。</li> <li>●月に1回、保育士や看護師、作業療法士による「あそびのヒント」フィードバック。かわり方のわからない医療的ケア児と遊ぶヒントなど、持ちネタを紹介してもらう。おっかなびっくりのかわり方では表面的な付き合いに終わってしまい、個性や魅力を感じるには行きつきません。中身を知ってもらうための形式的な講習にも力を入れます。</li> </ul>						
期待される効果 【1年目】	<p>「標準的」でない子どもは、保護者や本人の意思に反して地域の学校に通えないケースがあったり、学校が受け入れを実施しても「標準的な子ども」の保護者から厳しい声をかけられたりすることも間々あります。</p> <p>日ごろから地域に溶け込み、同年代の友人と一緒に過ごすことが当たり前の空気があれば、行政の判断に基づく就学期の分断問題も起きづらくなるのではないかと考え、地域住民同士の横のつながりを強固にするための活動を実施します。</p>						
実施に必要な費用の内訳 【1年目】	項目	単価	数量	金額 (a)	うち自主財源 (b)	助成申請額 (c) = (a) - (b)	
	謝礼(保育士、月3回分)	10,000	12	120,000	0	120,000	
	謝礼(看護師、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000	
	謝礼(作業療法士、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000	
	チラシ印刷費	5	1,000	5,000	0	5,000	
	おやつ代	1,000	100	100,000	0	100,000	
	保険料	100	50	5,000	0	5,000	
	雑費	30,000	1		0	30,000	
	合計 (円)						<b>500,000円</b>
	助成申請額 (千円未満を切り捨て)						<b>500,000円</b>

<p>内容及び計画 【2年目】</p>	<p>定期的な関りによって打ち解けてきた参加者が、昨年度の集まりで物足りなかった点や、これからの希望などを話し合い、参加者自身が反省や希望に即して企画したイベントを実行できるよう、手助け活動をメインにします。同時に新規の参加者も募り、賛同者を増やすことも目標とします。 また、次年度に開催する講演会のゲスト選定や、そこで訴えかけたいテーマの設定など、私たちの活動を通して自分や子ども、次世代の人たちの生活がどのように変化するか、させたいかを丁寧に話し合っていきます。</p>					
<p>期待される効果 【2年目】</p>	<p>「参加者」の側にいた一人一人が「運営者」としての役割も担うようになります。悩みや困り事に対し、不満を抱くことは簡単でも、意見にし、それを改善していく行動につなげていくことは大変難しいものです。 会の活動で触れるのは小さな「社会」ですが、自分もその「社会」を変える行動力があることに気づききっかけを作れればと考えています。</p>					
<p>実施に必要な費用の内訳 【2年目】</p>	<p>項目</p>	<p>単価</p>	<p>数量</p>	<p>金額 (a)</p>	<p>うち自主財 源 (b)</p>	<p>助成申請額 (c) (=a-b)</p>
	謝礼 (保育士、月3回分)	10,000	12	120,000	0	120,000
	謝礼 (看護師、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000
	謝礼 (作業療法士、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000
	チラシ印刷費	5	1,000	5,000	0	5,000
	おやつ代	1,000	100	100,000	0	100,000
	保険料	100	50	5,000	0	5,000
	イベント企画会議のためのスタッフ交通費 (10人×4回分)	1,000	40	40,000	0	40,000
	雑費	30,000	1		0	30,000
	合 計 (円)					540,000円
	助 成 申 請 額 (千円未満を切り捨て)					540,000円
<p>内容及び計画 【3年目】</p>	<p>交流会の運営スタイルは2年目とほぼ同様となります。 活動の集大成としての講演会開催を活動の大きな柱としながらも、活動開始時に幼稚園に入園した子どもが就学年齢に達します。集団生活の始まりに不安を抱える子どもや保護者に寄り添うのはもちろん、必要があれば行政機関や学校などの橋渡しを行い、「あの団体に相談すると力を貸してくれるよ、心強いよ」と言ってもらえるような結果を残したいです。 また、相談事例をデータベースとして残し、今後の活動やアドバイスに広がりを持たせるように工夫します。</p>					
<p>期待される効果 【3年目】</p>	<p>悩みに寄り添い「心の支え」であった私たちのグループが、必要に応じて相手先との交渉や相談を行うことで「実質的な支え」にもなりたいと考えます。</p>					
<p>実施に必要な費用の内訳 【3年目】</p>	<p>項目</p>	<p>単価</p>	<p>数量</p>	<p>金額 (a)</p>	<p>うち自主財 源 (b)</p>	<p>助成申請額 (c)= (a) - (b)</p>
	謝礼 (保育士、月3回分)	10,000	12	120,000	0	120,000
	謝礼 (看護師、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000
	謝礼 (作業療法士、同上)	10,000	12	120,000	0	120,000
	チラシ印刷費	5	1,000	5,000	0	5,000
	おやつ代	1,000	100	100,000	0	
	保険料	100	50	5,000	0	5,000
	イベント企画会議のためのスタッフ交通費 (10人×4回分)	1,000	40	40,000	0	40,000
	シンポジウム会場費	100,000	1	100,000	0	100,000
	雑費	30,000	1		0	30,000
	合 計 (円)					540,000円
	助 成 申 請 額 (千円未満を切り捨て)					540,000円

- 「費用内訳」は、今回の申請事業に関する経費のみを記入して下さい。
- グループ・団体の広報誌やパンフレット、会則または定款のいずれかを必ず添付し、予算書または決算書を作成している場合は添付して下さい。
- 器具・器材の購入や印刷等を業者に発注する場合は、見積書と購入物のパンフレットを添付して下さい。
- 見積書は実際に購入・依頼する業者に実質価格（割引後の金額）で作成してもらって下さい。